

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

老朽化した石垣を整備し、史跡の耐震性や排水性能を回復する (岡山県津山市)

事業者：岡山県津山市



整備前



整備後



石垣整備：一旦解体し栗石や裏込石を詰め直し作業

対策名：97 史跡名勝天然記念物等の老朽化対策

主たる施策グループ：6-5) 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失



教育・文化等

事業名：歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

- ポイント**
- 津山城跡の老朽化した石垣を適切に修理
 - 令和4年台風14号や令和5年台風7号において、整備済の石垣については崩落等の被害を防止

地域の概要・課題

丘陵地に所在する石垣等の史跡は、水害や地震による被害を受けやすく、崩落した土砂が民地に流入する被害も発生しています。

このため、史跡名勝天然記念物については適切な周期で老朽化対策整備を行う必要がありました。

事業の概要

津山城跡において、孕み出しが生じる等の老朽化が確認された石垣について、一旦解体し、石垣を積み直すとともに、栗石や裏込石を詰め直し、適切な耐震性や排水性能を回復する整備を行いました。

事業面積：251.6㎡

他施設での被害事例



孕み出しが進み崩落の危険があった石垣



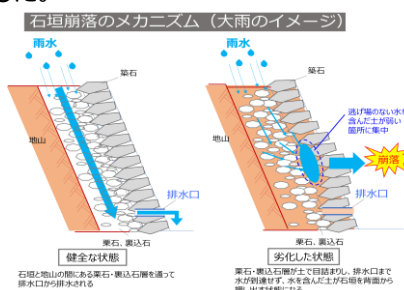
整備が遅れて石垣が崩落

効果

津山城跡では、平成30年7月豪雨にて法面が崩落するなどの被害が発生していました。

本事業は令和5年3月に完了したのですが、令和4年の台風14号上陸時には概ね整備できていたため、城内の他の箇所では被害（復元建物である備中櫓の漆喰壁剥離等）が発生したところ、整備を実施した「二の丸東側石垣」では被害が生じませんでした。

また、令和5年の台風7号においては、隣町に所在する文化財において遊歩道が破損する被害が発生しましたが、津山城跡の整備済の石垣に被害は生じませんでした。



2 への転換に向けた老朽化対策

予防保全型インフラメンテナンス

3 国土強靱化に関する施策の

デジタル化に関する施策の

伝達の高連情報予測、収集・集積